

商品の多言語対応による訪日外国人の 利便性向上及び消費額の拡大に向けて

(募集テーマ:外国人が快適に過ごせるように)

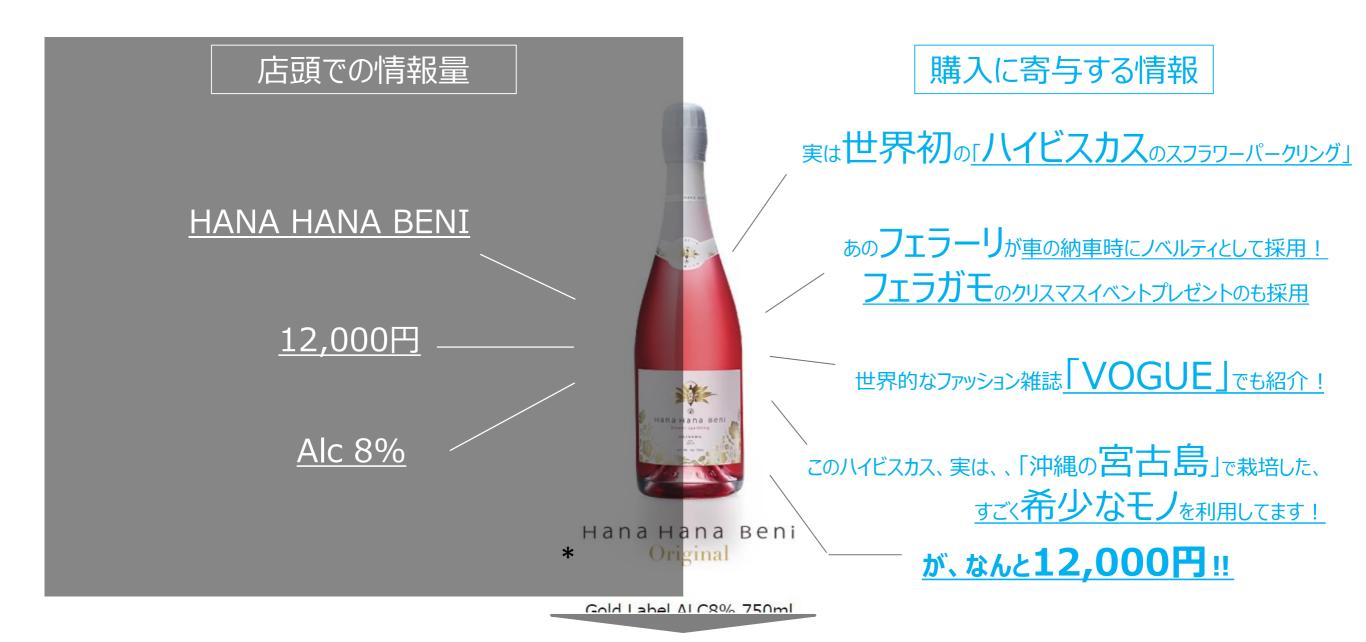


株式会社Payke 代表取締役CEO 古田 奎輔

流通過程における商品情報について



- ■商品の販売には、商品の情報や魅力 (ストーリー) を伝えることが重要
- ■しかし、流通過程で情報は削ぎ落ち、店頭で受け取れる情報量は限定的



商品の情報・魅力が伝われば、「<u>購買動機」・「価格への納得感」</u>が生まれる **消費意欲が高まり**、結果、**消費高の向上**につながる



1/55807

ใครกำลังดู?

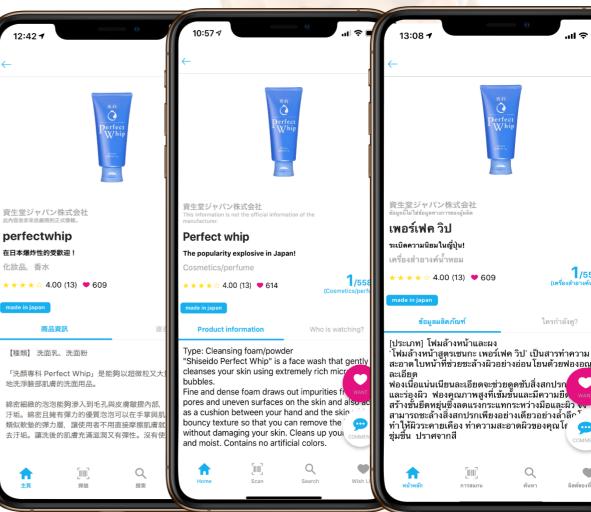
バーコードをスキャンするだけで魅力が分かる!

7力国語対応









世界統一規格のバーコード。

これまで活用機会が少なかったが、消費者向けに新たな利用価値を生み出した。

既存のバーコードを活用することで、商品パッケージの変更などを必要としない、 かつ一つのバーコードを登録することで、世界中に流通している同一商品に対して、一元的に多言語情報を付与

Paykeのユーザ数



- Paykeは世界142の国と地域で累計400万ダウンロードされ、訪日外国人 が利用する国内アプリとしては国内最大級の規模に
- 海外での各アプリストアでもダウンロードランキング1位を獲得

Paykeのユーザ数推移について

国内 No. 1 訪日外国人観光客向けアプリへ



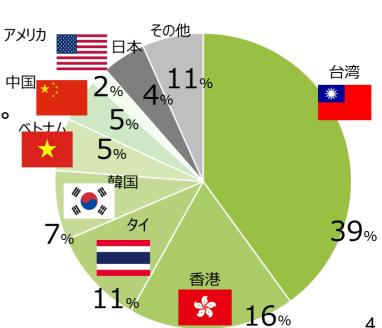
海外での評価

台湾・香港・マカオなどのApp storeでDLランキング



ユーザ国籍分布

■ 96% 以上が 日本人以外のユーザー。 またその多くが、 東・東南アジア圏



※2019/6時点 ©Payke, Inc.All rights reserved. ※第三者アプリへの機能提供も含む

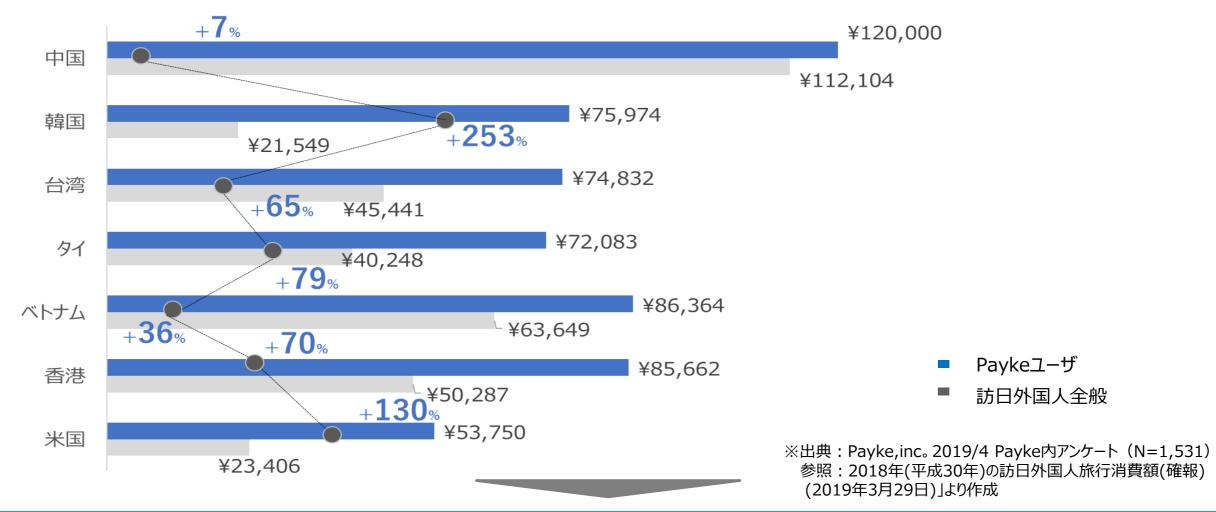
Paykeの取組み実績について



■ Paykeの利用者は、商品情報や魅力を理解した上で購入している為、 消費額が大きい傾向にある

Paykeアプリユーザの消費単価

■ Paykeアプリの利用者は、一般の訪日外国人に比べ、消費額が平均 60% 高い傾向にある



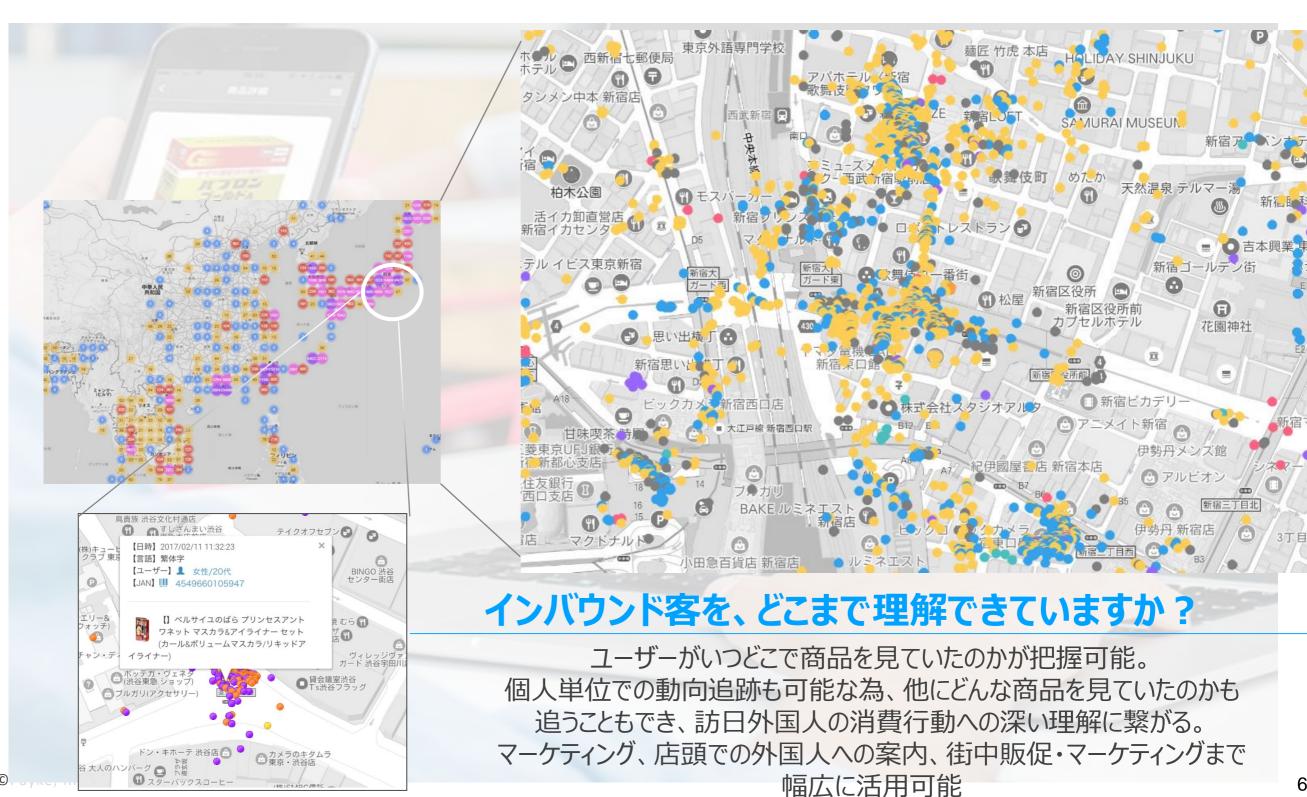
本来、流通過程で削ぎ落とされてしまう <mark>商品情報の多言語化が訪日外国人の消費額を引き上げる</mark>近道

©Payke, Inc.All rights reserved.

Paykeが取得・保有しているデータについて



■ Paykeでは訪日外国人のデータを取得しており、いつ、どこで、誰が、 何を手にしているかを可視化・分析

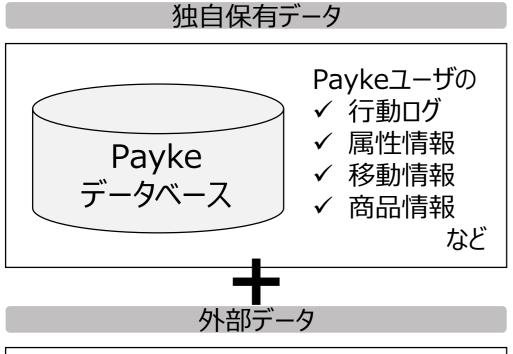


Paykeデータ x 官民データによる活用例



■ Paykeが保有するデータに行政保有データを掛け合わせ、訪日外国人全体 のトレンドに拡張推計することで、訪日外国人全体の消費トレンドデータをマ クロからミクロの視点で可視化可能に

データの掛け合わせ





https://www.into.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/ http://www.mlit.go.jp/kankocho/sirvou/toukei/index.html

データの活用方法

エリア毎の外客数トレンド

✓ 特定のエリアに対し、どのような 国/属性の外国人が訪問して いるか、またどのような推移を しているかなどのマクロトレンド を把握可能

消費トレンド

✓ インバウンド全体もしくは 特定の国籍 x 特定商品 x 特定エリアなどのセグメント別の 消費傾向や商品嗜好性の トレンド、消費額などを把握

エリア全体の訪日外国人 ▼ドン・キホーテのインバウンド売上

▼特定エリアの主要属性(国籍・性別など)

移動情報

- ✓ 特定の訪日外国人、若しくは 訪日外国人群に対して移動 情報取得可能に
- ✓ また、移動時間・移動ルートを 測定することで、移動手段も 想定可能

▼特定商圏内の移動情報

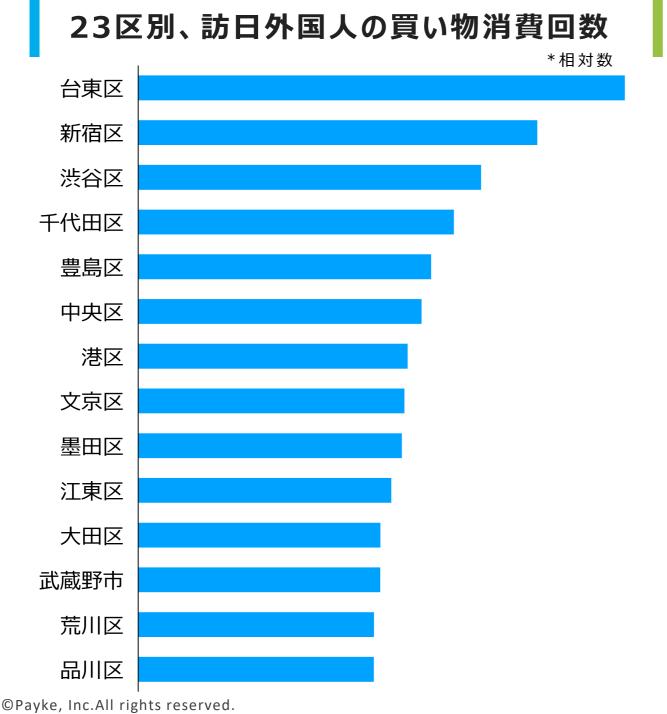


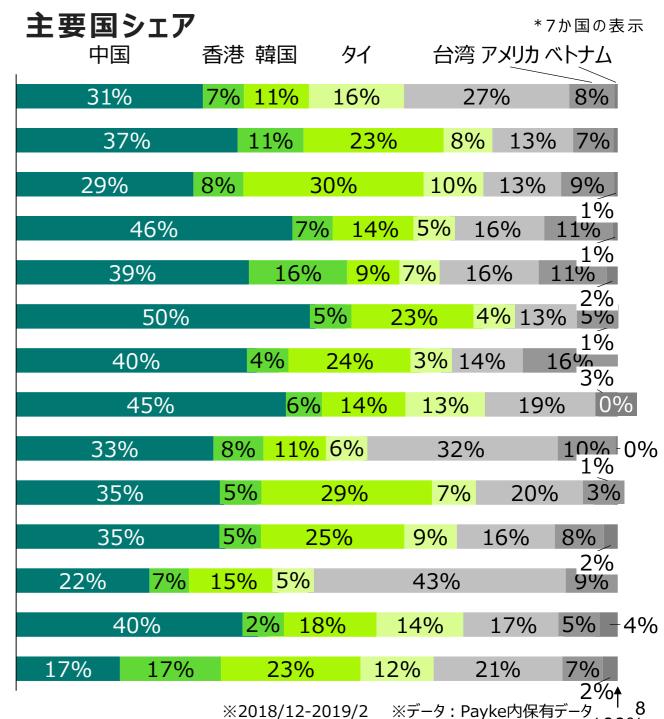
移動井田ア

Paykeが保有するデータサンプル 市区町村別訪日外国人消費動向



■市区町村別にみると、エリアごとに消費回数や、実際消費をしている方々の 国籍分布などを把握可能



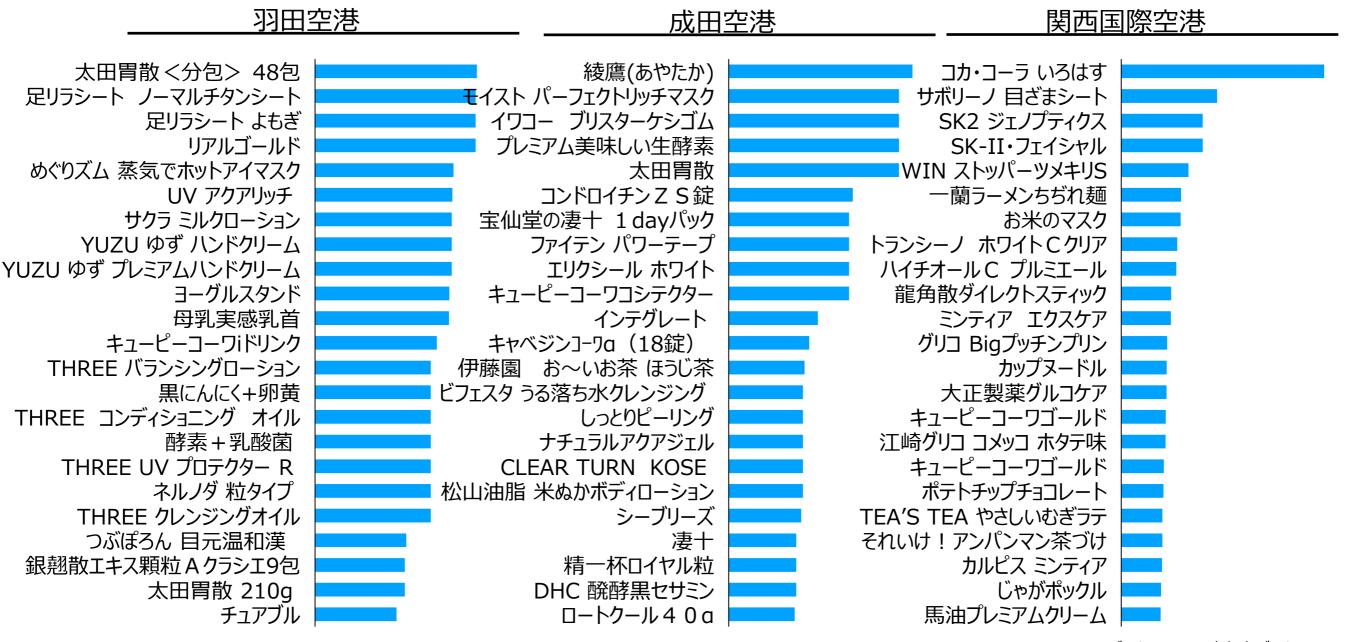


Paykeが保有するデータサンプル 空港間における商品嗜好性差異



■空港によって人気商品が異なる傾向があることがわかる

各空港における商品嗜好性



Wrap up



- 訪日外国人は日本の「分からない」商品は手に取らないし、買わない。
 商品の魅力を正しく伝えることで消費意欲が高まり、購入機会が生まれる。
- → 訪日外国人の満足度向上、ひいては訪日外国人消費の拡大へ

- Paykeが取得・保有する訪日外国人の消費傾向データと、各行政が保有している訪日外国人全般のマクロデータを組み合わせることで、訪日外国人全般の消費データへ拡大推計可能に
 - → 今まで不明瞭だったインバウンドマーケット全体の官民ビックデータへ

©Payke, Inc.All rights reserved.

